



Vol. 1

こんにちは 絵本



—3才頃から—



一宮市立子ども文化広場図書館

2010年8月

～絵本の楽しさをすべての子どもたちへ～

絵本は子どもの心に豊かなことばを伝え、素晴らしい絵は楽しい世界へ誘います。この読み聞かせの体験は子どもの心に刻み込まれ、やがては子どもの想像力を深めて困難に立ち向かう時の心の糧にもなることでしょう。

どうぞ心をこめて、子どもに本を読んであげてください。子どもはきっと心を開き、耳を傾けるでしょう。そこには自分に向けられた愛情をいっぱいに感じている幸せな子どもの姿があります。

子どもにとって絵本は“楽しみ”そのものなのです。



はらぺこあおむし

エリック＝カール・作／もりひさし・訳
偕成社 1976年

あたたかいにちようびのあさ、ぼん！とちっぽけなあおむしがうまれました。はらぺこあおむしは、毎日食べて大きくなり、やがて…。世界中で読まれているしかけえほんです。

三びきのやぎのからがらどん

ノルウェーの昔話 マーシャ・ブラウン・絵／せたていじ・訳
福音館書店 1965年

3匹のやぎの名前はどれも「がらがらどん」。おいしい草を食べようと、山にでかけます。でも途中で大きくておそろしいトロールがいる橋を渡らなければなりません。



おおきなかぶ

ロシアの昔話 A・トルストイ・再話/内田莉紗子・訳/佐藤忠良・画

福音館書店 1966年

おじいさんがかぶのたねをまきました。やがてそれはとても大きなかぶになりました。おじいさん1人では抜けません。そこでおばあさんを呼び、みんなを呼んで「うんとこしょ、どっこいしょ」



そらまめくんのベッド

なかやみわ・作/絵

福音館書店 1999年

そらまめくんの宝物は、くものようなフワフワなベッド！でもだれにも貸しません。ところがそのベッドがなくなってしまうです。果してベッドは見つかるでしょうか？とても心あたたまる話になっています。



ぐるんぱのようちえん

西内ミナミ・文/堀内誠一・絵

福音館書店 1966年

はたらきに出たぞうのぐるんぱは、どこに行っても失敗してはしょんぼり、しょんぼり。でも大きなお皿にお水を入れたら！特大ビスケットはちぎって子どもたちに！ぐるんぱのようちえんは大成功です。



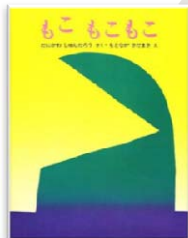
ねずみくんのチョコッキ

なかえよしを・作/上野紀子・絵

ポプラ社 1974年

「いいチョコッキだね、ちよっときせてよ。」ねずみくんのチョコッキを、さるやライオンやぞうたちが次々に着ていきます。チョコッキはだんだん伸びてしまい、最後には…？





もこ もこもこ

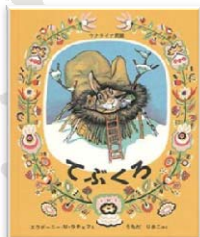
谷川俊太郎・作／元永定正・絵
文研出版 1977年

しーん、と静かな空間から突然「もこ」。すると「もこもこ、によき」と大きくなって、「もこ」が「によき」をぱくつと食べます。とてもおもしろい形と音の不思議な世界に、こどもも大人もひきこまれます。

てぶくろ

ウクライナ民話 エウゲーニー・M・ラチョフ・絵/うちだりさこ・訳
福音館書店 1965年

森の中に落とし物の手袋。くいしんぼうねずみが
住みはじめると「私も入れて」ときつねやおおかみ
がやってきて手袋の家はぎゅうぎゅうづめ。それ
でも動物たちはまだまだやって来ます。



ちいさいうち

ばーじにあ・りー・ばーとん・文と絵／いしいももこ・訳
 岩波書店 1965年

むかしむかし、いなかにとてもじょうぶなちいさいお
うちがありました。そのうちのまわりに開発の波
が押し寄せ、おうちはずっかりしょんぼりしてしま
います。さて、ちいさいおうちはどうなってしまうの？

ぐりとぐら

なかがわりえこ・作/おおむらゆりこ・絵
福音館書店 1967年

のねずみのぐりとぐらはお料理することと食べることが大好き。森の奥で大きなたまごを見つけた2匹は、それはそれは大きなかすてらを焼きはじめます。あ～、いいにおい！！

